

令和5年4月定例教育委員会会議録

○日 時 令和5年4月19日(水) 午後3時～午後3時35分

○場 所 櫛引庁舎 3階 教育委員室

○出席委員 教育長 布川 敦

1番 百瀬 克浩(教育長職務代理者)

2番 清野 康子

3番 中村 公俊

4番 齋藤 美緒

○欠席委員 なし

○出席議事説明職員氏名

教育部長	永壽 祥司	参事兼管理課長	清野 健
学校教育課長	今野 新一	学校教育課指導主幹	渡邊 智
社会教育課長	沼沢 紀恵	社会教育課文化財主幹	五十嵐 雄
スポーツ課長	阿部 三成	中央公民館長	熊坂 めぐみ
図書館長	五十嵐 恭子	給食センター所長	小林 尚志

○出席事務局職員氏名

管理課庶務係長 長瀬 陽彦

【会議次第】

1 開会

2 市民憲章唱和

3 会議録署名委員の指名

4 議事

日程第1 議第8号 学校運営協議会委員の任命について(非公開)

5 報告事項

(1) 臨時代理処理事項の報告について(非公開)

(2) 第46期大寶館展示について

(3) 「庄内の歴史ハンドブック」について

(4) 令和5年度中央公民館の事業について

(5) 令和5年度図書館・郷土資料館主要事業について

(6) その他

6 閉会

開 会 (午後3時)

教育長 ただいまから4月の定例教育委員会を開会する。はじめに市民憲章唱和を行う。

(管理課長が先唱し市民憲章唱和)

本日の会議録署名委員は、4番委員にお願いする。

教育長 それでは議事に入る。日程第1議第8号は人事案件のため、非公開とすることにご異議はないか。

各委員 異議なし。

教育長 異議なしと認め、これより非公開とする。

(会議録は別記録とする)

教育長 続いて報告事項に入る。報告事項(1)は人事案件が含まれるため、非公開とすることにご異議はないか。

各委員 異議なし。

教育長 異議なしと認め、これより非公開とする。

(会議録は別記録とする)

教育長 報告事項(2)及び(3)について、事務局より一括で報告をお願いする。

社会教育課長 大寶館第46期企画展を紹介する。

今年度は、鶴岡の音楽振興に深くかかわった作曲家の中田喜直氏生誕100年にあたることから、「中田喜直 生誕100年記念展 ～音楽のまち鶴岡～」と題し企画展示を来年3月まで開催する。

中田氏が馬そりから見た鶴岡の情景から曲想を得て作曲した「雪のふるまちを」の直筆楽譜や、音楽を通じた鶴岡市民との深い絆にスポットをあて中田氏の事績を紹介している。

また、音楽のまち鶴岡の振興に貢献された中田氏と親交のあった菅原喜兵衛氏、合唱指導者として鶴岡土曜混声合唱団の母体をつくり上げた三井直氏の功績を紹介している。

ぜひ委員の皆様からも足を運んでいただきたい。

社会教育課文化財主幹 「庄内の歴史ハンドブック」の紹介と、これを活用した「出前講座」について説明する。

「庄内の歴史ハンドブック」は、昨年の酒井家庄内入部400年を契機として歴史や文化を理解することで郷土への愛着と誇りを高める機会と捉え、酒井家庄内入部400年記念実行委員会の歴史文化部会が中心となって制作し、年度末の3月に市内の小学5年生から中学3年生へ頒布している。

内容については、酒井家を中心に庄内入部以前から、明治初期までの300

年余りの庄内の歴史を、図や写真を多く取り入れながらまとめたものとなっている。

また、小中学校の生徒が分かりやすく読めるようにと、市内の高校生からも編集や執筆に協力していただきながら完成した。

今回、教育委員の皆様にも配布するので、ぜひご高覧いただきたい。

なお、このハンドブックは致道博物館や鶴岡書店組合加盟の書店にて1冊700円で一般販売も行っている。

加えて昨年度は、地域固有の歴史や文化に学ぶ機会として「出前講座」と題して、当課職員や市内有識者が講師となり、希望があった学校や現地に出向いて話させていただく歴史講座を行った。

結果として小学校3校、中学校4校の計7校、合計632名の児童生徒から参加していただき、その後の担当教諭へのアンケートでも概ね満足との回答をいただいている。

そこで、今年度はこの2つの事業を合わせる形で、「庄内の歴史ハンドブック」を活用した出前講座を行いたいと計画している。

現在、講座の内容や講師の選定などについて内部で協議中であるので、ご承知願う。

教育長

ただいまの報告についてご質問、ご意見等はあるか。なければ次に、報告事項（4）について、事務局より報告をお願いします。

中央公民館長

はじめに、令和5年度鶴岡市勤労青年国内研修事業についてである。これは、旧青年センターから当館が引き継いだ事業で、毎年度、鹿児島市と交互に互いの市を訪問している。コロナ禍で3年間中止となっていたが、本年度の派遣により35回目となり、5月から研修生の募集を開始する。オンラインで交流できるようになってきたが、実際に現地を訪問してそこで直接交流することは、自分自身や地域の事を再認識する貴重な機会になると思う。来月から、チラシ配布等により研修生の募集を開始するで、皆様の周りにもし良い方がいたら、ぜひお勧めいただきたい。

次に、プラネタリウム春の一般公開のお知らせである。デジタル番組を入れ替えて、幼児向けに「妖怪ウォッチ」、小学生向けに「ワンピース」、一般向けに「平原綾香 いのちの星の詩 SPECIAL EDITION」の3番組を中心に、今年、年間を通してデジタル番組の入れ替えを行っていく。今週18日から予約の受け付けを開始している。一般向けの番組では、平原綾香氏の優しい語りと、名曲ジュピターとともに壮大な宇宙の旅にいざなう内容となっている。ひとりでも家族でも楽しめるので、ぜひ鑑賞いただきたい。

最後に中央公民館春季講座の案内で、チラシを市広報5月号に折込みし全戸配布する。

いくつか特徴的なものを紹介すると、「つるおか歴史散歩」と「鶴岡魅力発見」は現地研修となっている。今回は加茂のまち歩きをしながら、オープンしたての「渚の交番」の紹介もしていただくことになっている。鶴岡魅力発見講座では、大人にも鶴岡のことを知って誇りに思ってもらえるよう、今後シリーズ化していきたい。パーソナルカラーに関する講座についてであるが、これはマスク着用が個人の判断になっているので、マスクなしでも自信を持って生活してもらいたいという意図である。また、昨年度大変好評いただき、キャンセル待ちにもなかなかお応えできなかったデジタル講座について、今回はシニアのためのスマホ講座を午前午後の2コース開設する。今後、少しずつ内容を変えながらパソコンやスマートフォンの講座を実施していく。女性センターの職業支援講座、子供向けの講座もある。少年少女古典素読教室は昨年度から対象を小学校1年生以上に拡大して実施しており、既に小中学校の全児童生徒にチラシを配布したところ、昨年度の受講者から申込みをいただいている。申し込みは5月9日（火）からとなっている。皆様も都合が合えば、ぜひ参加ください。

教育長

ただいまの報告についてご質問、ご意見等はあるか。

4番委員

鹿児島県の研修事業について、募集する年齢が「おおむね40歳位まで」となっているが、どのくらいまで声掛けをしてよいか。

中央公民館長

40代であればよい。

教育長

ほかにご質問、ご意見等はあるか。なければ次に、報告事項（5）についてについて、事務局より報告をお願いします。

図書館長

図書館では年間を通じて本に親しむ事業を行っている。幼児から大人向けの様々な事業を実施している。

4月29日（土）の「春のすがたりおはなし会」は絵本などの道具を使わず、声だけで話を楽しんでもらう。子ども向けに11月4日（土）には土田先生のワークショップを予定している。大人向けでは7月1日（土）に作家の逢坂剛氏を招いて小説家・ライター講座を開催する。現在、チラシを作成中だが実際に受講者が書いた原稿に先生から批評をいただくこともできる。

コロナ禍が少し落ち着いてきて、色々な事業ができると考えている。分館の事業では、各地域で読み聞かせボランティアの方々が独自の企画を実施している。

郷土資料館の主要事業では、「庄内の俳諧展」の開催に向けて現在準備中である。

小中学校との連携事業の年間予定についてである。新一年生への図書館利用カードの申し込み及び配布について、図書館の利用カードは庄内地区にお住まいの0歳から作成できるが、身分証明が必要なので、子どもだけ

で作ることは難しい。そこで、学校を通じて利用カードの申し込みを行っている。土田先生のイラストが書かれたカードなので、届いたらぜひ本館や分館で使っていただきたい。

各種コンクールなど年間をとおして展示など実施しているので、ぜひご覧になっていただきたい。

教育長

ただいまの報告についてご質問、ご意見等はあるか。

なければ、ほかに報告事項はあるか。なければこれをもって4月の定例教育委員会を終了する。

閉 会 （午後3時35分）